

令和2（2020）年4月27日

市民及び市内事業者の皆様へ

小金井市新型インフルエンザ等対策本部長 小金井市長 西岡 真一郎

「感染拡大防止と地域の医療崩壊を防ぐために」（注意喚起 No5）

皆様、こんにちは、小金井市長の西岡真一郎です。

新型コロナウイルス感染が全国的に急増し、令和2年4月16日、政府より緊急事態宣言が全国に拡大をされ、東京都は重点的に取り組む特定警戒都道府県に指定をされました。

東京都は、4月25日から5月6日までの期間を、「ステイホーム週間、うちで過ごそう」という期間に位置付け、そし5月6日までの期間を、極めて大切な、重要な期間と位置づけました。私たち市民に対しましては、さらなる行動が求められたところであります。

東京都の感染者数は増加し続け、ひっ迫しています。そして、4月25日時点の小金井市の感染者数も13名となり、予断を許さない状況となっております。

私からも改めてお願いを申し上げます。

生活の維持に必要な場合を除き、外出はしないでください。人との接触を8割減らしてください。

密閉空間、密集場所、密接場面の3つの密を避けるようにしてください。

手洗いや消毒、マスクの着用、咳（せき）エチケットや会話のエチケットを習慣化してください。

繰り返します。

生活の維持に必要な場合を除き、外出はしないでください。人との接触を8割減らしてください。

密閉、密集、密接の3つの密を避けるようにしてください。

手洗いや消毒、マスクの着用、咳（せき）エチケットや会話のエチケットを習慣化しましょう。

これは小金井市からの強いお願いでございます。

今、この状況の中にあり、極めて厳しい状況の中で、医療の最前線で、介護や子育てなど福祉の現場で、あるいは社会や私たちの生活を支えるために日夜働きご尽力をいただいている方々がいらっしゃいます。そして、この厳しい外出自粛の要請に応えるべく、様々な努力をしてくださっている方々がたくさんいらっしゃいます。この難局を乗り越えるためにご尽力をいただいているすべての方々に、心から御礼と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

さらなる感染拡大を防止し、そして、地域の医療崩壊を防ぐためには、私たちの行動が問われています。この難局を乗り越えていくために、多くの皆様方と力を合わせて乗り越えていきましょう。

これからもさらなるご協力を、心からお願い申し上げます。